



### 古典名画から現代アートまで多彩に発信

大原美術館は、昭和5年(1930年)に、日本初の西洋美術中心の私立美術館として誕生しました。

設立者は、地元・倉敷で活躍した事業家、大原孫三郎。親交の深かった画家・児島虎次郎によって集められたエル・グレコやマネ、ゴッゲンといった著名画家の作品に加え、日本美術・工芸・オリエントなど多様な分野の作品を収蔵・公開しています。さらに近年では現代アートの普及にも努め、さまざまなプログラムを実施。若手芸術家の支プログラム「ARKO(アルコ)」では、毎年1名のアーティストが3カ月ほど倉敷に滞在しながら創作活動を行い、完成作品を同館で展示公開。このような多様な取り組みを通じて、倉敷から新しいアートを発信しています。